

10809化学肥料製造業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2018	1	16 ～ 17	同僚が運転の社用車で農業試験場から移動していた。青信号で直進約30キロにて走行中、左から急に赤信号を無視した車が40キロほどで進入してきた。衝突を避けるため急ブレーキをかけ、急ハンドルを切り車との衝突は避けられたが、ポールフェンスに衝突し、車は止まった。衝突時の衝撃で頸椎捻挫となった。	35	17	231	—
2	2018	1	11 ～ 12	2tトラックでの積み込み作業が終了し、荷台のアオリが上がったままの状態にもかかわらず荷台からアオリを飛び越えるような形で地面に着地しようとして飛び越えたところ、右足の甲がアオリに引っ掛かったままで左足だけが地面に着地したところ、着地した左足の膝を強くひねった。	45	7	224	1～ 9人
3	2018	1	12 ～ 13	患者を2階の分娩室へ運び、掛け布団を持ち1階に戻る際、階段最下段部で足を踏み外し転倒した。その際、左足甲部に痛みを感じ、腫れもあった。踵骨前方突起を折った。	43	1	371	1～ 9人
4	2018	2	10 ～ 11	バルクを仕込み口までコンベアで移動中、方向を変えるためパレットリフトのスイッチを押して戻るとき、エアーホースへ躓き転倒する際に左手をついた衝撃でひじを骨折した。	57	2	417	50 ～ 99 人
5	2018	2	9 ～ 10	鶏舎内を洗浄するため動噴機械を始動したが、寒波の影響でノズルの先端が凍結しノズルから水が出ないために、ノズル先端部の確認を行ったときに噴射し左眼下部周辺に当たり出血した。	50	4	391	10 ～ 29

									人
6	2018	2	16 ～ 17	奥にあったドラム缶を引っ張り出そうとした際に、手が滑り転倒し、頭と腰を地面に打ちつけた。	51	19	921	10 ～ 29	人
7	2018	3	8 ～ 9	被災者はブロワー（送風機）を設置するため、手前までフォークリフトでパレットに載せ運び3人の従業員で持ち上げ設置場所まで移動しようとした際に、被災者の手が滑り、バランスを崩し左第2指の指先をブロワー下部と設置場所ベースに挟み受傷した。	42	4	611	10 ～ 29	人
8	2018	5	20 ～ 21	フォークリフトから降車しようとして昇降用ステップに左足を掛け車両本体から降りようとしたときに左足が滑り、落ちた際に右足小指の付根付近をひねり負傷した。	58	3	222	50 ～ 99	人
9	2018	5	8 ～ 9	駐車場から事務所へ歩いて向かっているとき、足がもつれ、左側よりコンクリートの地面に転倒、左側半身を強打し負傷した。	60	2	417	10 ～ 29	人
10	2018	7	18 ～ 19	浮上防止ホッパーからタラップで降りる途中、眩暈がしたため足を滑らした際、足と臀部から落ち、モーターと架台で背中を打った。	65	1	371	50 ～ 99	人
11	2018	8	23 ～ 24	カーボンブラック20kgミシン袋包装作業後、背中痛みがあり、後日、腰椎圧迫骨折と診断された。	59	19	921	—	
12	2018	9	6 ～ 7	化成工場のベルトコンベアのアジャスト調整のため、カップブラシを使用してケレン作業を実施中、異物が右目に入り、負傷した。	41	4	521	50 ～ 99	人

13	2018	9	6 ～ 7	化成工場のベルトコンベアのアジャスト調整のため、カップブラシを使用してケレン作業を実施中、異物が右目に入り、負傷した。	41	4	521	50 ～ 99 人
14	2018	9	6 ～ 7	化成工場のベルトコンベアのアジャスト調整のため、カップブラシを使用してケレン作業を実施中、異物が右目に入り、負傷した。	41	4	521	50 ～ 99 人
15	2018	9	6 ～ 7	化成工場のベルトコンベアのアジャスト調整のため、カップブラシを使用してケレン作業を実施中、異物が右目に入り、負傷した。	41	4	521	50 ～ 99 人
16	2018	10	16 ～ 17	工場内で、稼働中の原液充填機を清掃しようとして、エアシリンダーのマイクロメーター開口部付近に右手を近づけたところ、下降して来たエアシリンダーに右手人差し指を挟まれた。	19	7	321	100 ～ 299 人
17	2018	11	11 ～ 12	サッカリン溶解タンク内の清掃作業中、タンク内に下りるはしごが邪魔になったので、タンクの外に出そうと持ち上げたとき、はしごの重みでバランスを崩し、はしごとタンクの間に指を挟んだ。	45	7	371	10 ～ 29 人
18	2018	12	10 ～ 11	年末の大掃除の際、ヘルメットは着用していたが、脚立を使用せずに1.8メートルほどの高さの所に上がった。集塵パイプに右足を掛けたところ、パイプが外れて、コンクリートの床に落下し、背中を打ち怪我をした。	64	1	419	1～ 9人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）に戻る。](#)